

# 『荒川大学』開校

～ミュージアムとしての荒川の  
価値とこれからの利活用を考える～

東北でもっともきれいな川・荒川。この恵まれた地域資源を未来にわたって、「わたしたちのふるさとの川」として位置づけ、さらに、親しみを感じる自然フィールドとして利活用を図るにはどのような知恵と工夫が必要なのでしょうか？  
今年度の『荒川大学』開校では地域子ども達と河川の専門家を育成する第一歩とし、皆さんと共に、これからの荒川の利活用を考えていきます。

日時

平成  
20年

2/11 月

時間

AM10:00～PM4:00

場所

福島テルサ 1階・FTホール



入場  
無料

## 第一部 事例発表 10:00～

「こどもたちの川へとのかかわり」  
市内各小学校予定

【講評】

松浦 芳孝 この指とまれ事務局長

## 第二部 シンポジウム 13:00～

### I「選奨土木遺産授賞式」

荒川治水・砂防事業：砂防ダム・地蔵原堰堤、露堤等

### II「基調講演」

テーマ「これからの河川のあり方と取組み」

【講師】

越智 繁雄 国土交通省 河川局 治水課 事業監理室長

### III「シンポジウム」

テーマ「荒川のこれからの利活用を考える」

【コーディネーター】

伊藤 登 協議会会員・プランニングネットワーク代表

【パネラー】

鈴木 浩 福島大学共生システム理工学類教授

知野 泰明 日本大学工学部土木工学部准教授

野崎 修司 福島市立三河台小学校校長

柴田 俊彰 福島市商工観光部長

植田 雅俊 福島河川国道事務所長

伊藤 賢之 ふるさとの川・荒川づくり協議会長

【アドバイザー】

越智 繁雄 国土交通省 河川局 治水課 事業監理室長

### IV「荒川ミュージアム宣言」

伊藤 賢之 ふるさとの川・荒川づくり協議会長